

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35.61494 138.50400	施設ID 35.61494,138.504
鏡中糸橋 (ワガナ)	若草1級3号線	南アルプス市鏡中糸字新地4686-8先				
管理者名	カガミナカジョウハン	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
若草地区		河川(釜無川)	有	一般道		指定無し

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅲ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	465.3	4.7	上部構造 423-④PC橋_ポステンT桁 下部構造 11-重力式橋台 基礎構造 0-直接基礎


※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

技術的な評価結果			定期点検実施年月日			2024.12.2	定期点検者			
			想定する状況					その他		
			活荷重	地震	豪雨・出水					
橋(全体として)			C	A	A	A	(      )			
上部構造			C	写真番号 1、2	A	写真番号	A	写真番号	(      )	写真番号
下部構造			B	写真番号	A	写真番号	A	写真番号	(      )	写真番号
上下部接続部			A	写真番号	A	写真番号	—	写真番号	(      )	写真番号
その他(フェールセーフ)			—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	(      )	写真番号
その他(伸縮装置)			A	写真番号	A	写真番号	—	写真番号	(      )	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側




終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。


施設ID		35.61494.138.504		定期点検実施年月日		2024.12.2		定期点検者			
構成要素				上部構造				上部構造			
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		C		想定する状況		1-活荷重	
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B		構成要素の状態		B	



概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。  
(コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け  
(セルの上に配置)して下さい)  
なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。

画像のオブジェクト名を「写真03(数字は半角)」として下さい。

写真番号	1	径間	14	部材番号	03
備考	(適宜、特記事項など)				
構成要素					
想定する状況			構成要素の状態		



概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。  
(コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け  
(セルの上に配置)して下さい)  
なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。

画像のオブジェクト名を「写真04(数字は半角)」として下さい。

写真番号	2	径間	13	部材番号	03
備考	(適宜、特記事項など)				
構成要素					
想定する状況			構成要素の状態		

写真番号	3	径間		部材番号	
備考	(適宜、特記事項など)				

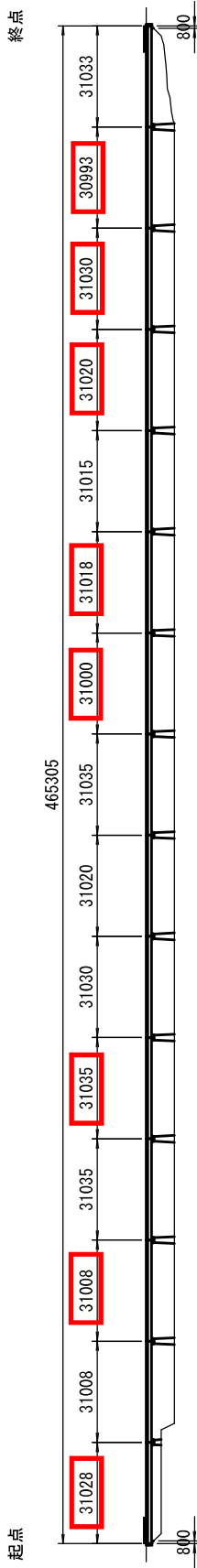
写真番号	4	径間		部材番号	
備考	(適宜、特記事項など)				

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

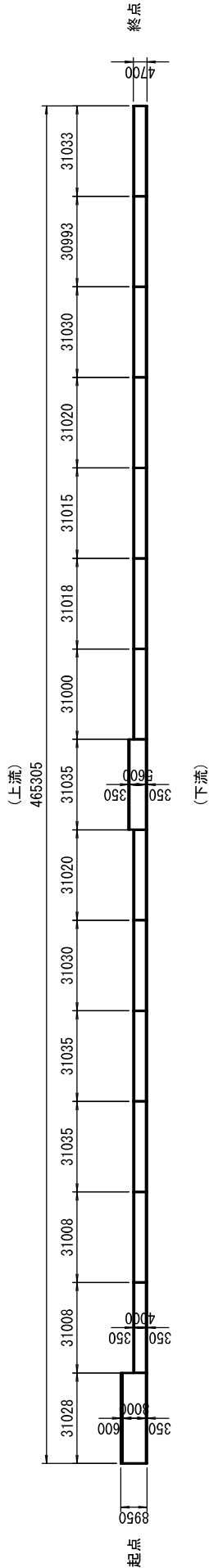
		施設ID	35.61494,138.504	定期点検実施年月日		2024.12.2	定期点検者	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	－	－			
下部構造	無	無	無	－	無			
上下部接続部	無	無	無	－	－			
その他(フェールセーフ)	－	－	－	－	－			
その他(伸縮装置)	無	無	無	－	－			

所見	<p>(適宜、所見を記入)</p> <p>支間中央部において構造安全性を脅かす主桁損傷が4箇所(径間9,10,12,14)見られる。シース管が露出・腐食し下側鉄筋の付着切れが確認できた。支間中央部であることより早急に対処すべき損傷である。また径間13においては桁端部にシース管に沿ったひびわれとそのひびわれが支間中央方向に延伸している。グラウト注入腐食に起因する損傷と推察できることから、これも早期に対応すべき損傷と考える。全径間においては維持管理にて対応可能な損傷が非常に多いことから、日常点検を行いつつ適宜補修を実施されたい。</p>
----	---

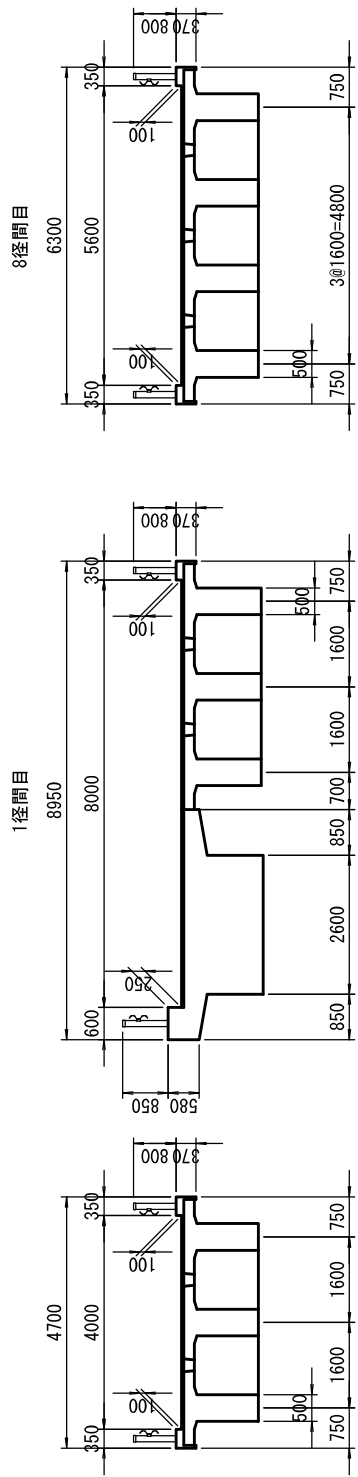
側面図 S=1:1500



平面図 S=1:1500



断面図 S=1:100



橋梁構造図	
整理番号	
橋梁名称	鏡中条橋
縮尺	図示
南アルプス市橋梁台帳	

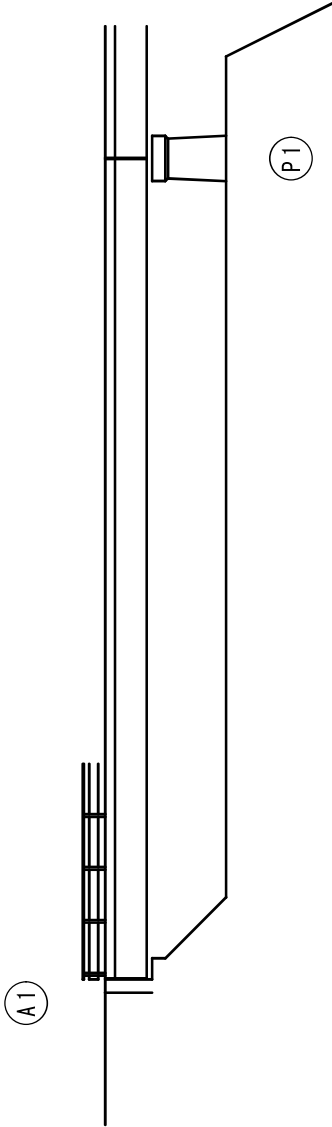
\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

鏡中条橋 損傷図（その１）（１径間目）

橋梁番号 40030409

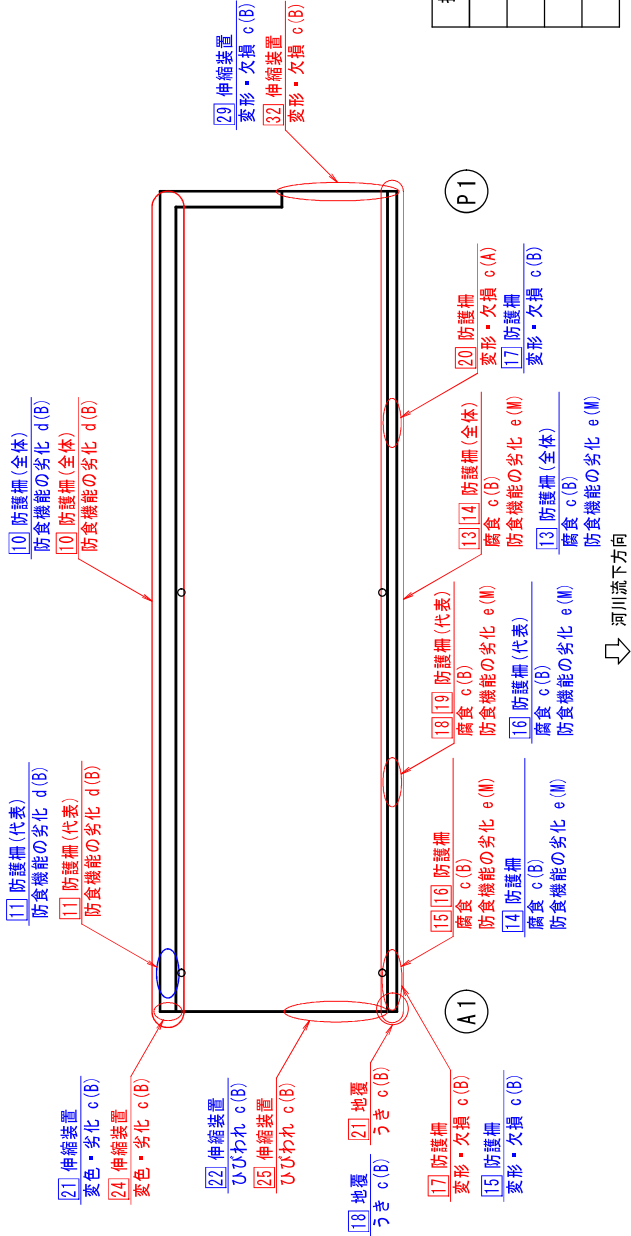
側面図

①



平面図

①



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ	へへ	豆板・空洞	豆板・空洞
剥 離	剥離	すりへり・侵食	すりへり・侵食
鉄筋露出	鉄筋露出	漏 水	漏 水
遊離石灰	遊離石灰	その他	その他

注) □内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

\*損傷部の色区分を以下に示す。

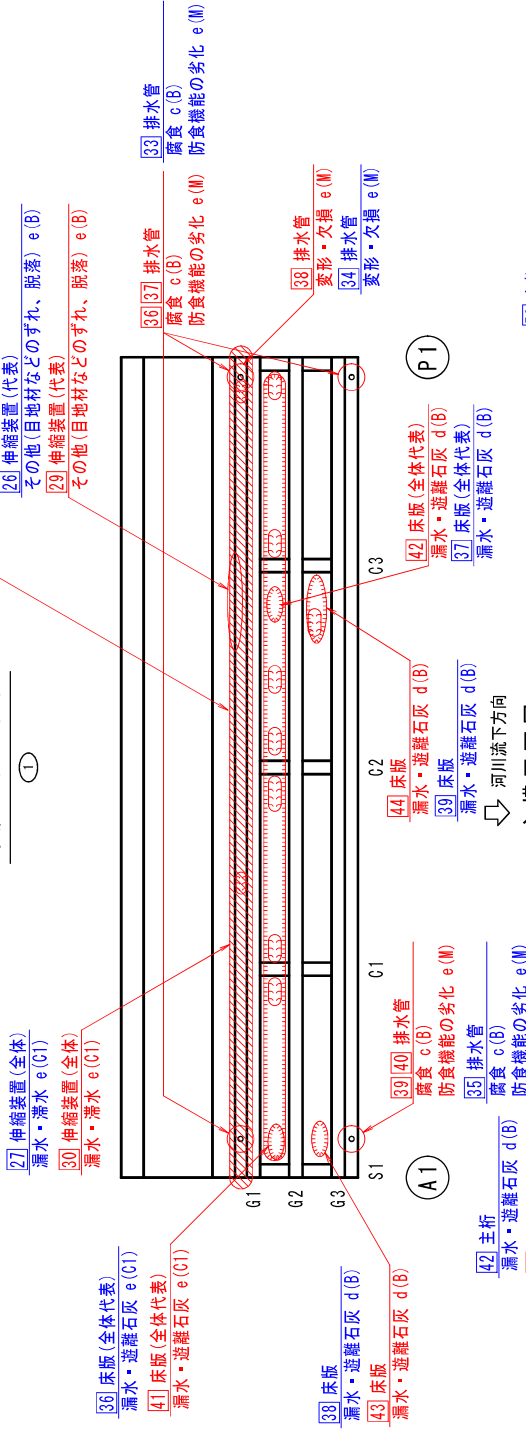
青字：R1年度点検時

赤字：R6年度点検時

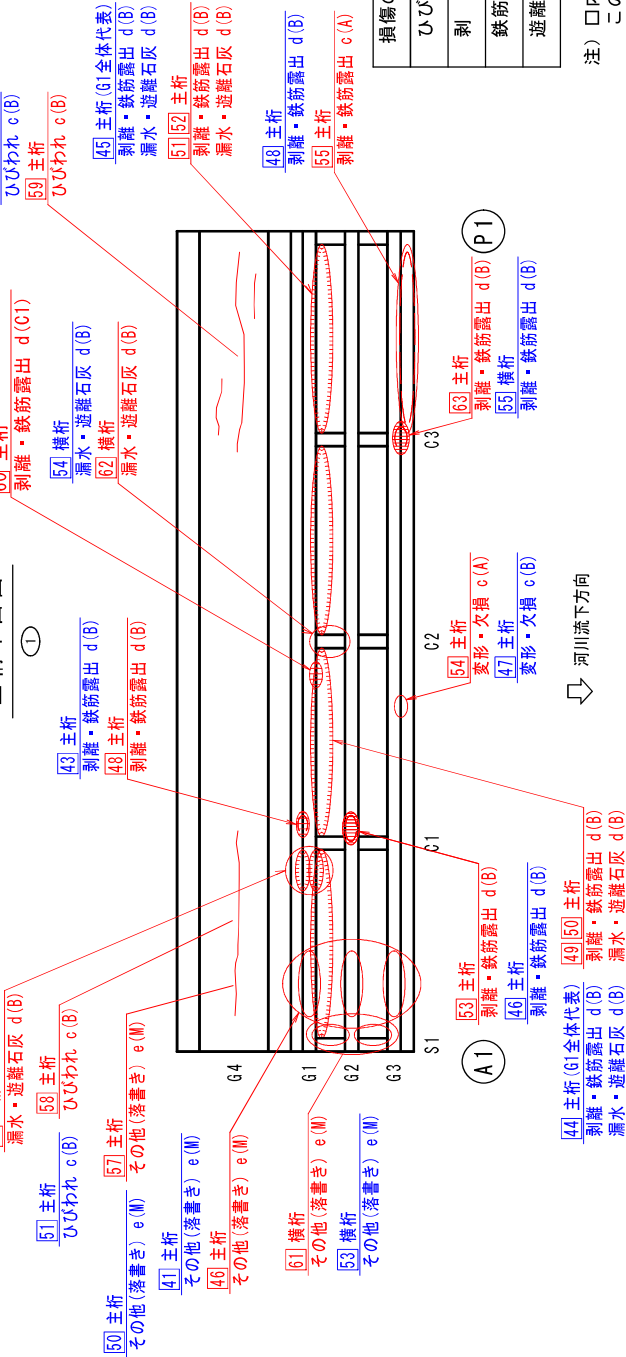
## 鏡中条橋 損傷図（その2）（1径間目）

橋梁番号 40030409

床版下面平面図



主構平面図



損傷の凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	ひびわれ	豆板・空洞	豆板・空洞
剥離	剥離	すりへり・侵食	すりへり・侵食
鉄筋露出	鉄筋露出	漏水	漏水
遊離石灰	遊離石灰	その他	その他

注) □内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

## 鏡中橋傷図(その3)(2径間目)

側面図

②

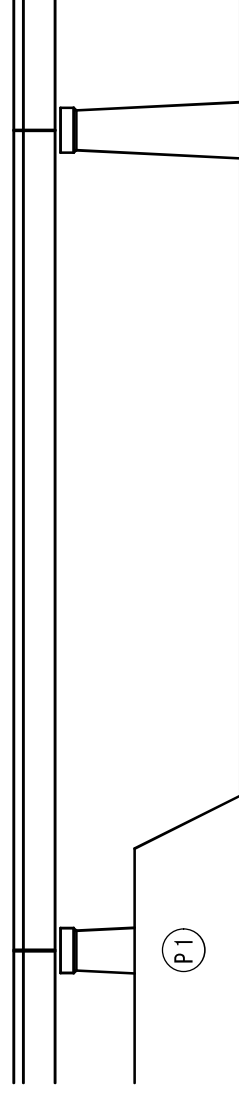
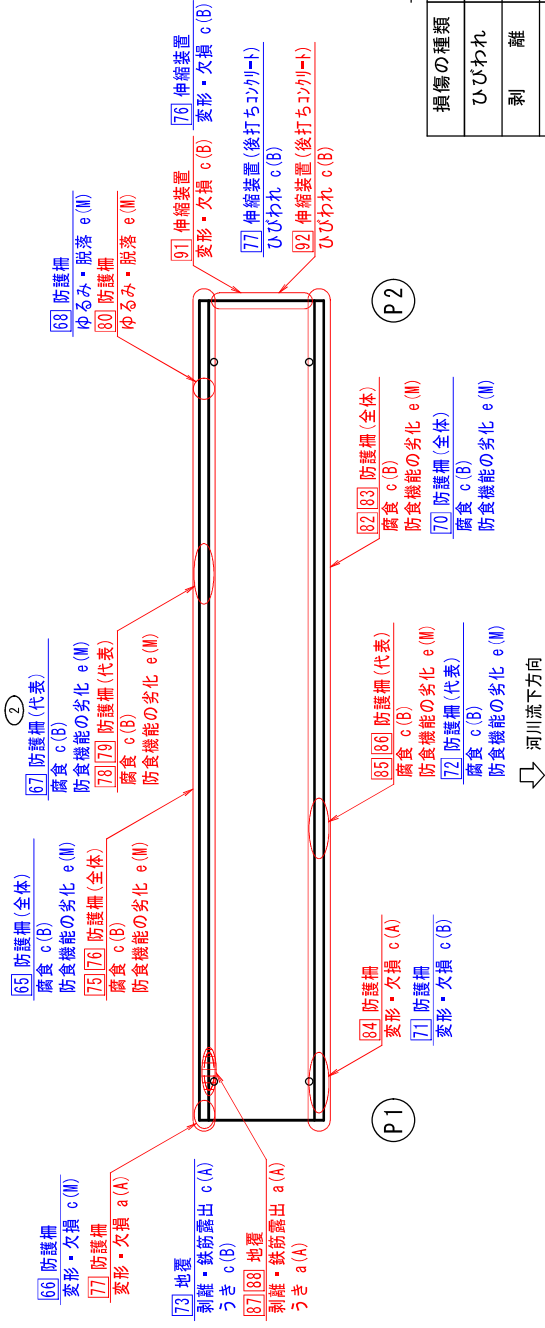


圖  
面  
平

(2)



損傷の凡例			
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		豆板・空洞	
剥離		すりへり・喰食	
鉄筋露出		漏水	
遊離石灰		その他	

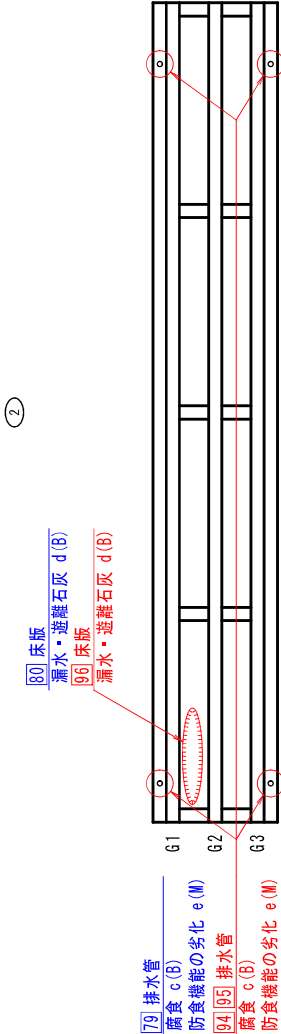
(注) □内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

鏡中条橋 損傷図（その4）（2径間目）

橋梁番号 40030409

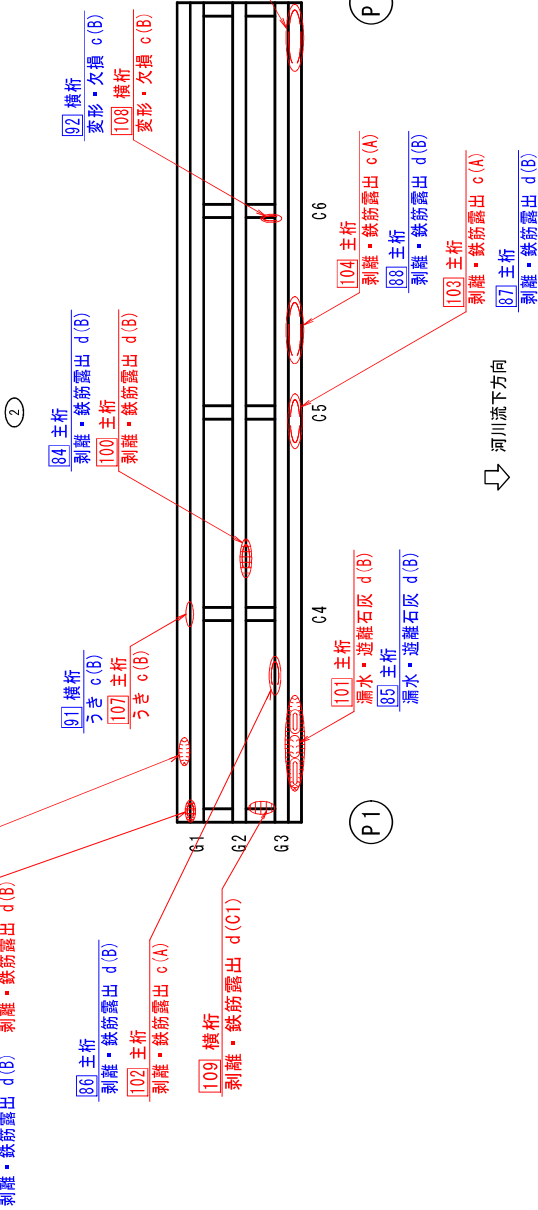
床版下面平面図



P2

P1

主構平面図



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ	ㄗ	豆板・空洞	⊗
剥 離	⊖	すりへり・侵食	⊘
鉄筋露出	⦶	漏 水	⦶
遊離石灰	⦶	その他	○

注) □内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

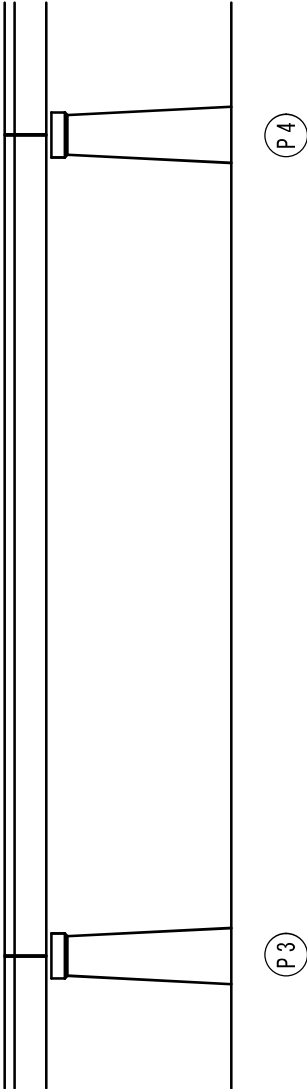


\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

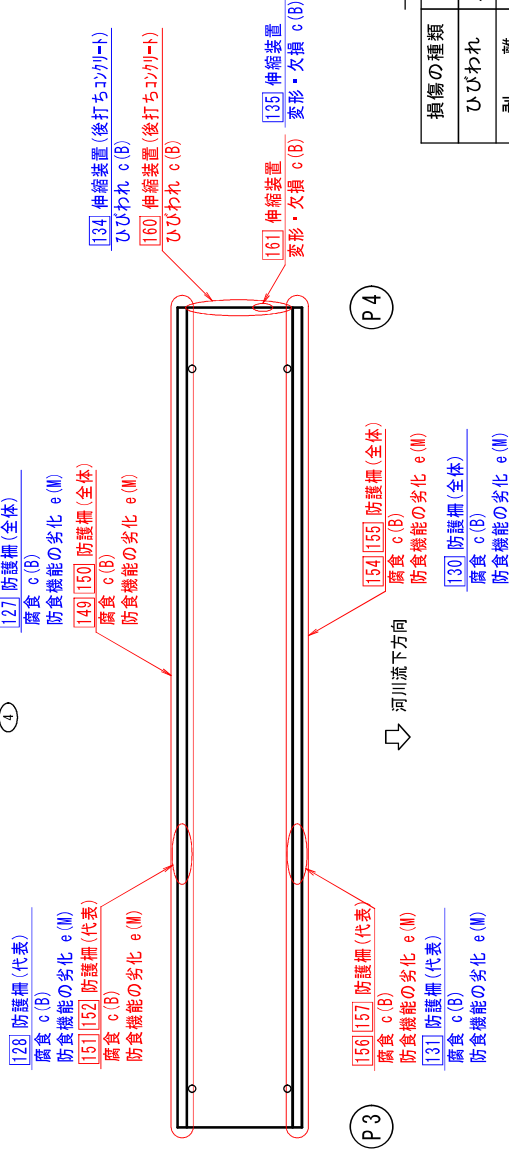
鏡中条橋 損傷図（その 7）（4径間目）

橋梁番号 40030409

側面図  
①



平面図  
①



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		豆板・空洞	
剥 離		すりへり・侵食	
鉄筋露出		漏 水	
遊離石灰		その他	

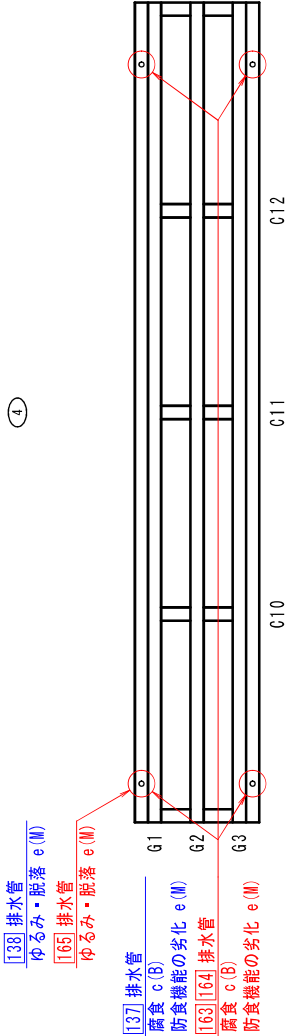
注) 口内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

鏡中条橋 損傷図（その8）（4径間目）

橋梁番号 40030409

床版下面平面図

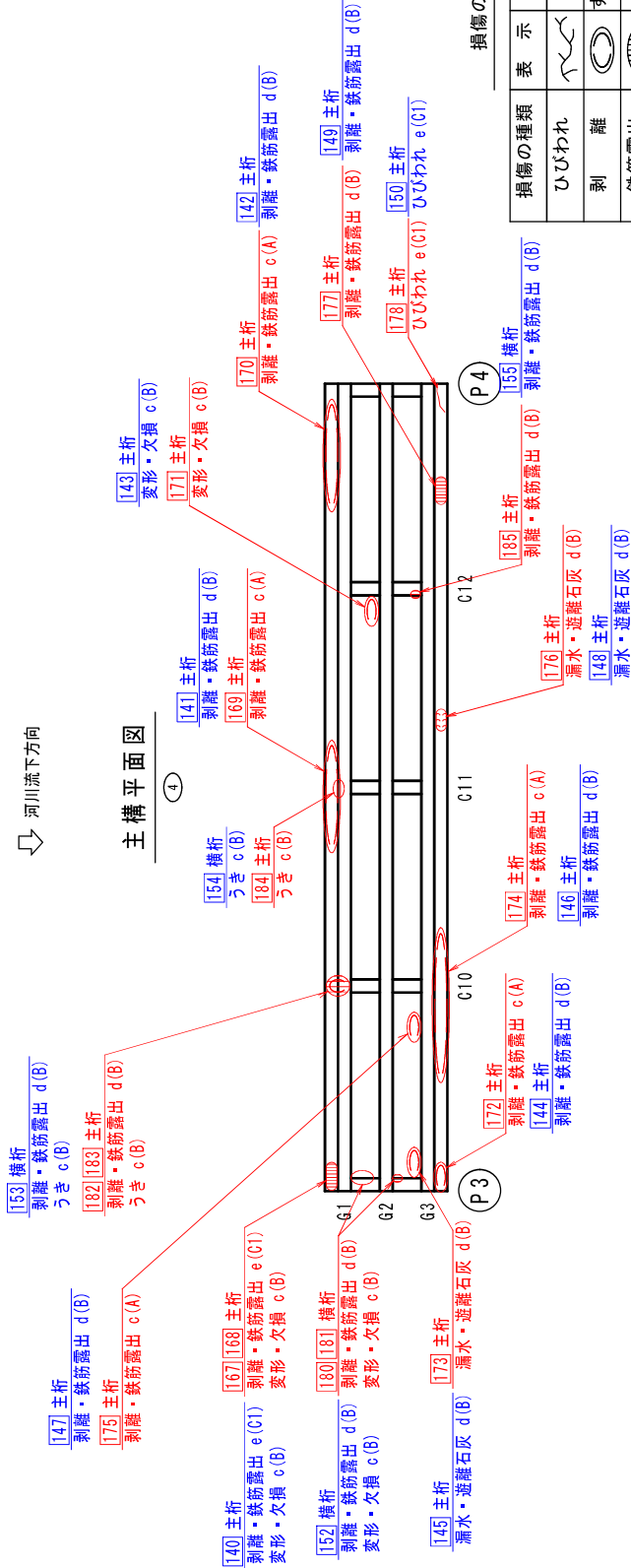


P3

P4

河川流下方向

主構平面図



河川流下方向

損傷の凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	ひびわれ	豆板・空洞	豆板・空洞
剥離	剥離	すりへり・侵食	すりへり・侵食
鉄筋露出	鉄筋露出	漏水	漏水
遊離石灰	遊離石灰	その他	その他

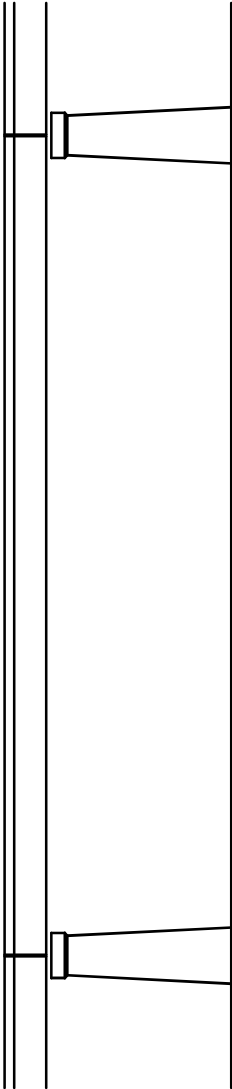
注) 口内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

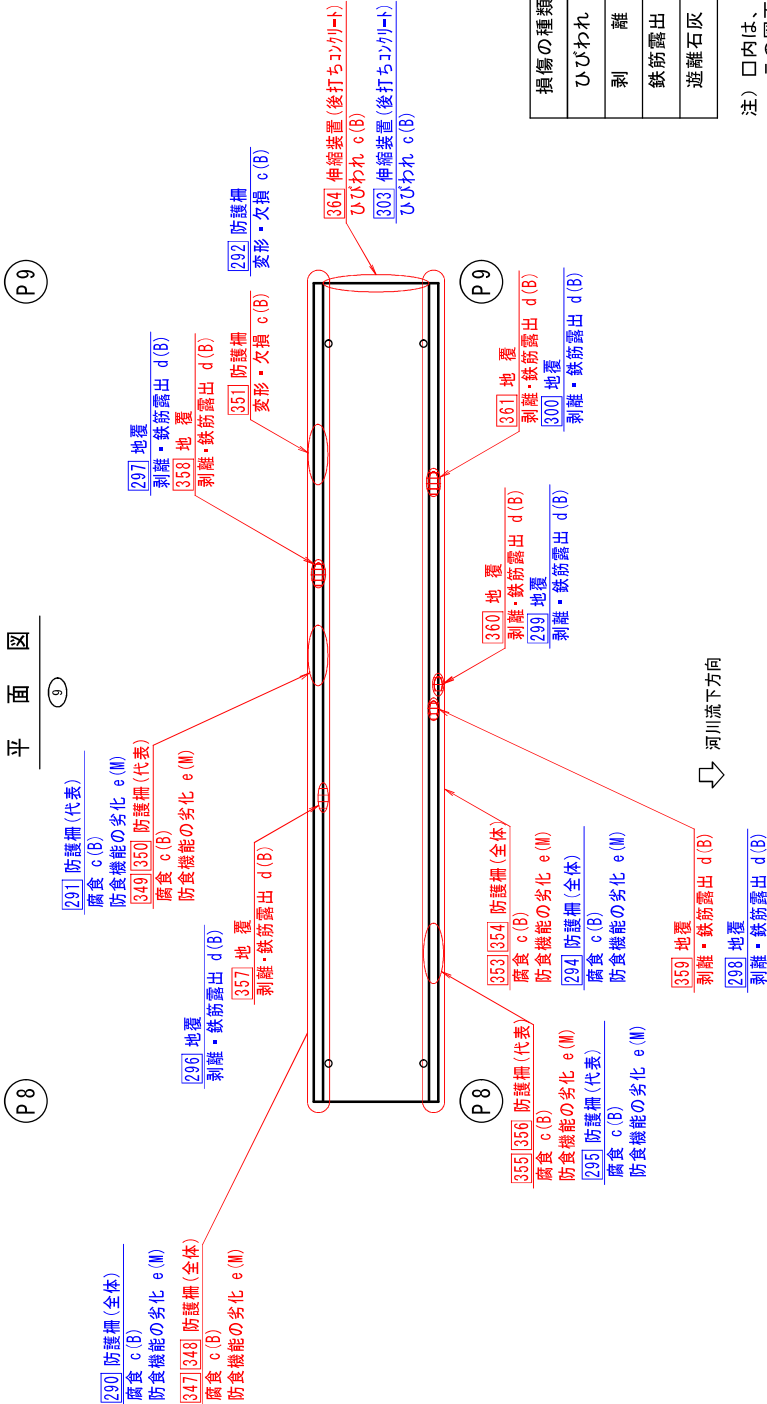
鏡中条橋 損傷図（その17）（9径間目）

橋梁番号 40030409

側 面 図  
①



平 面 図  
②

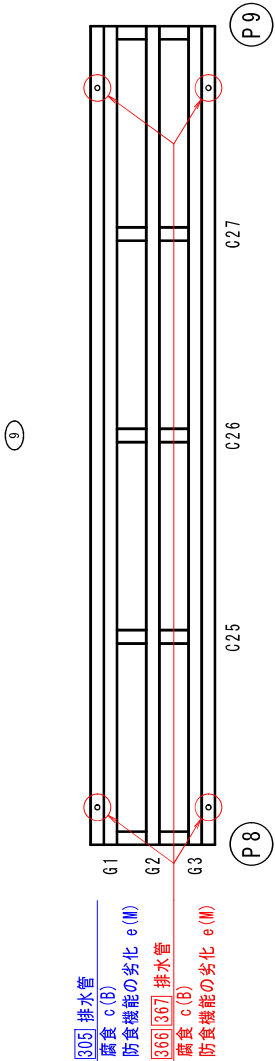


\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

鏡中条橋 損傷図（その18）（9径間目）

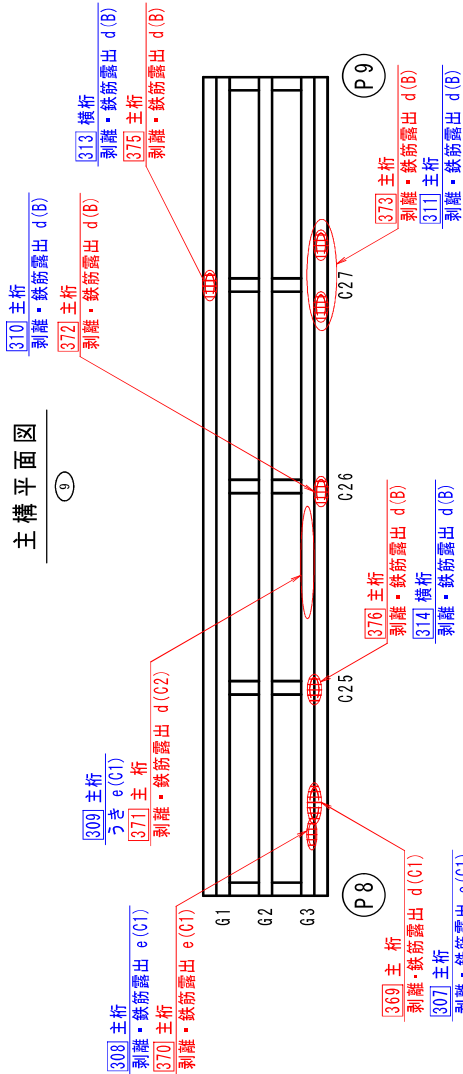
橋梁番号 40030409

床版下面平面図



河川流下方向

主構平面図



河川流下方向

損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ	ㄗ	豆板・空洞	⊗
剥 離	⊖	すりへり・侵食	⊘
鉄筋露出	⦶	漏 水	⦶
遊離石灰	⦶	その他	○

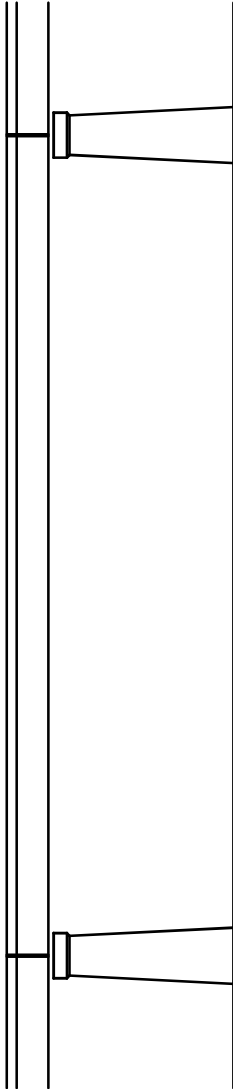
注) □内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

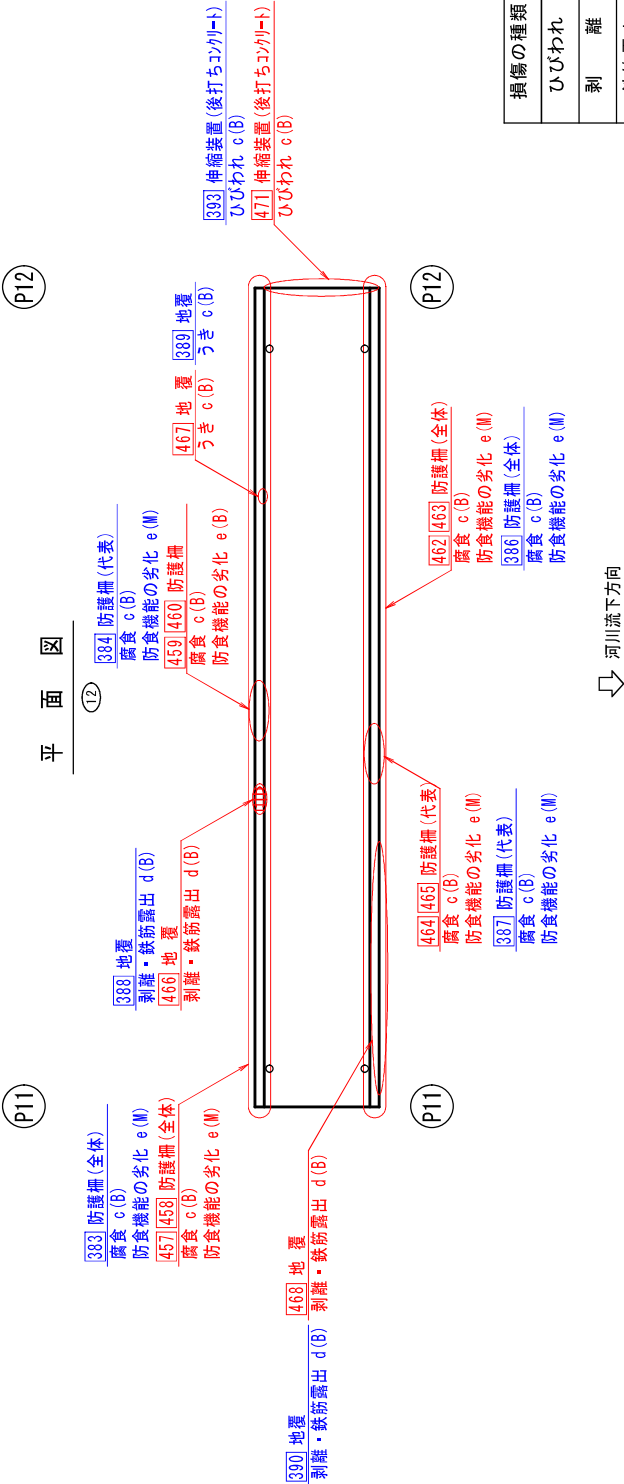
鏡中条橋 損傷図（その２３）（12径間目）

橋梁番号 40030409

側 面 図  
(12)



平 面 図  
(12)



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ	ひびわれ	豆板・空洞	豆板・空洞
剥 離	剥 離	すりへり・侵食	すりへり・侵食
鉄筋露出	鉄筋露出	漏 水	漏 水
遊離石灰	遊離石灰	その他	その他

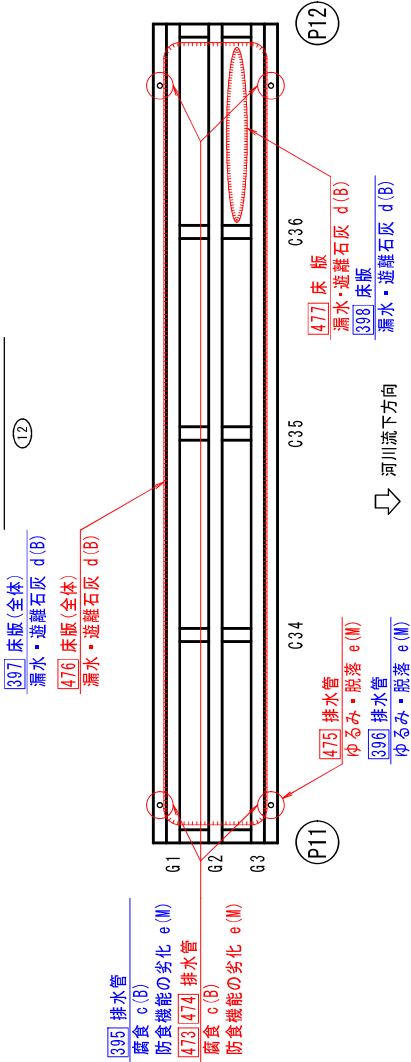
注) 口内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

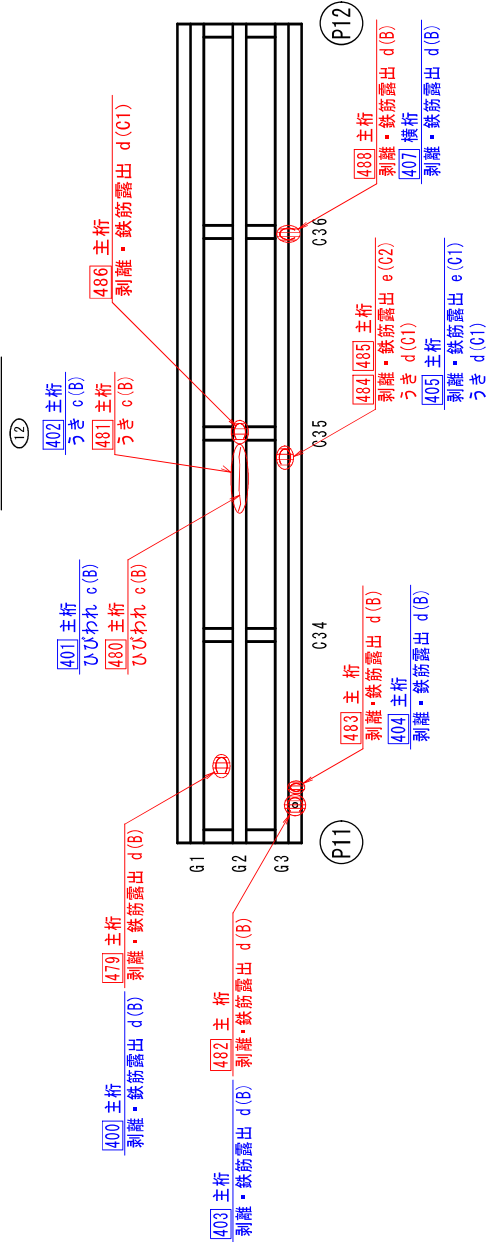
鏡中条橋 損傷図（その２４）（12径間目）

橋梁番号 40030409

床版下面平面図



主構平面図



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ	〰〰〰	豆板・空洞	⊗
剥 離	⊖	すりへり・侵食	〰〰〰
鉄筋露出	⊕	漏 水	〰〰〰
遊離石灰	⊙	その他	〇

注) □内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

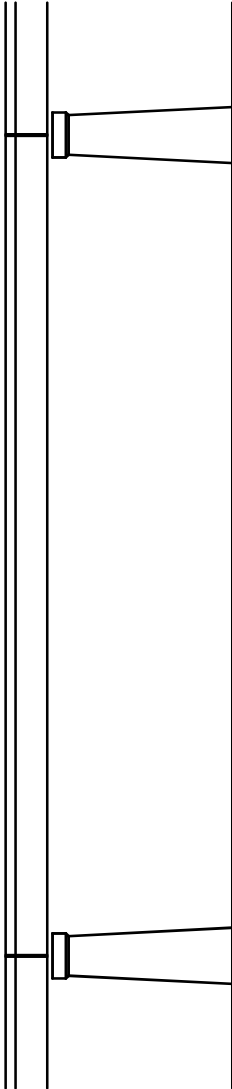
\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

鏡中条橋 損傷図（その25）（13径間目）

橋梁番号 40030409

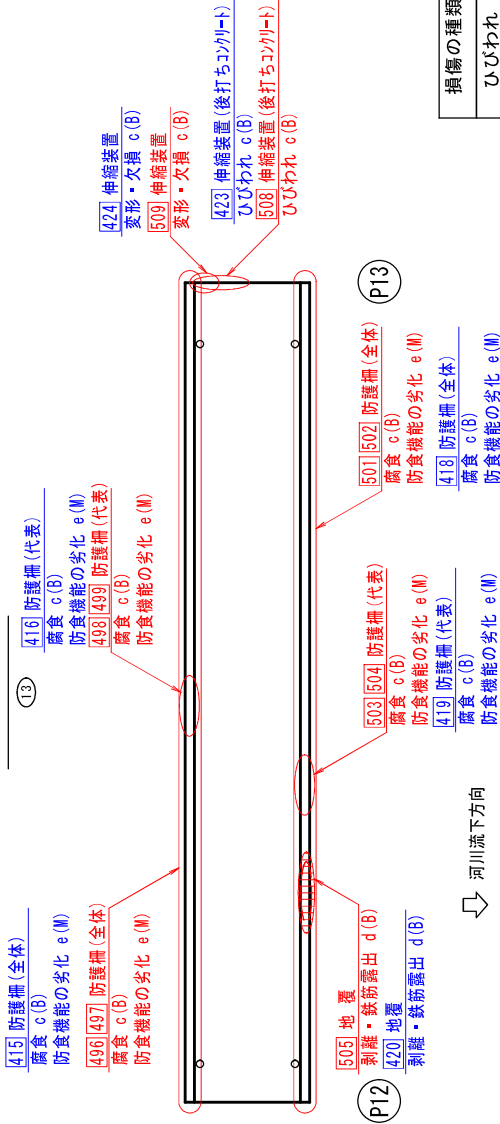
側 面 図

(13)



平 面 図

(13)



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		豆板・空洞	
剥 離		すりへり・侵食	
鉄筋露出		漏 水	
遊離石灰		その他	

注) 口内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

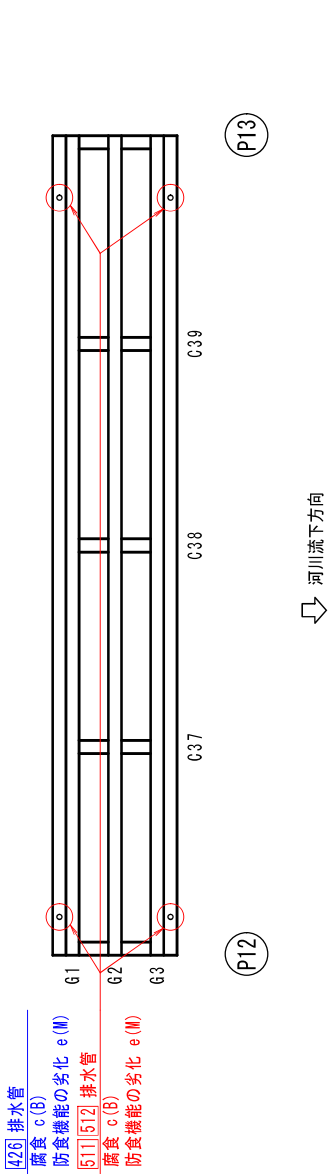
\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

鏡中条橋 損傷図（その２６）（13径間目）

橋梁番号 40030409

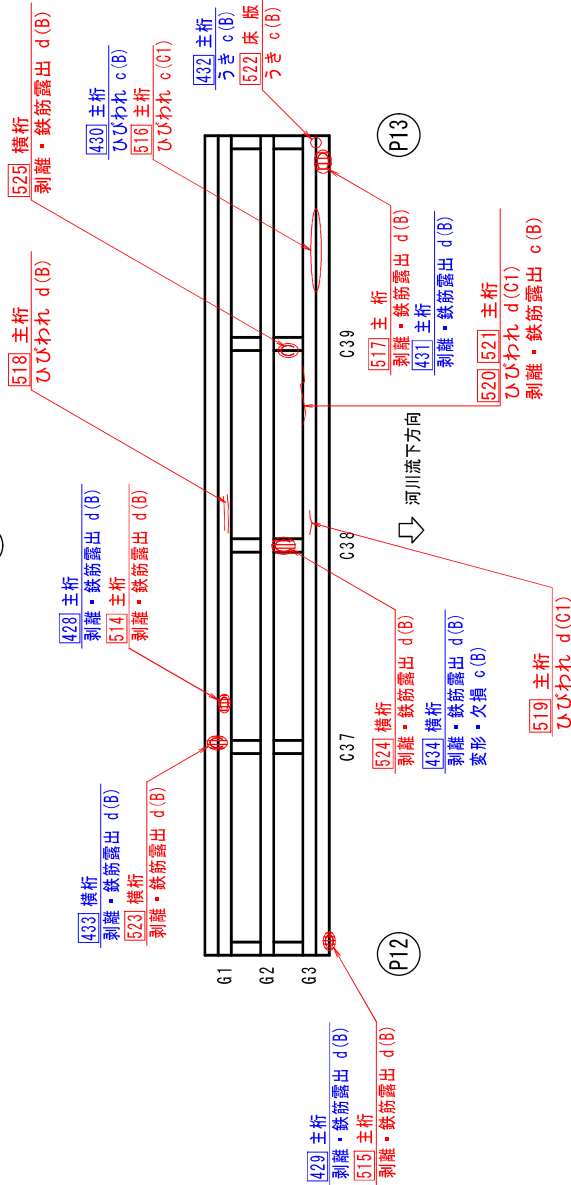
床版下面平面図

(13)



主構平面図

(13)



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		豆板・空洞	
剥 離		すりへり・侵食	
鉄筋露出		漏 水	
遊離石灰		その他	

注) □内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

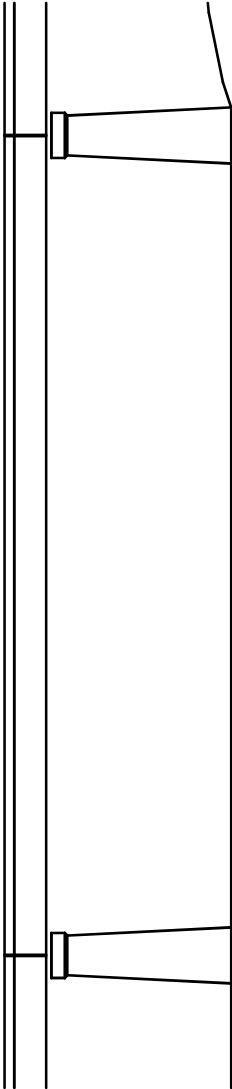


\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

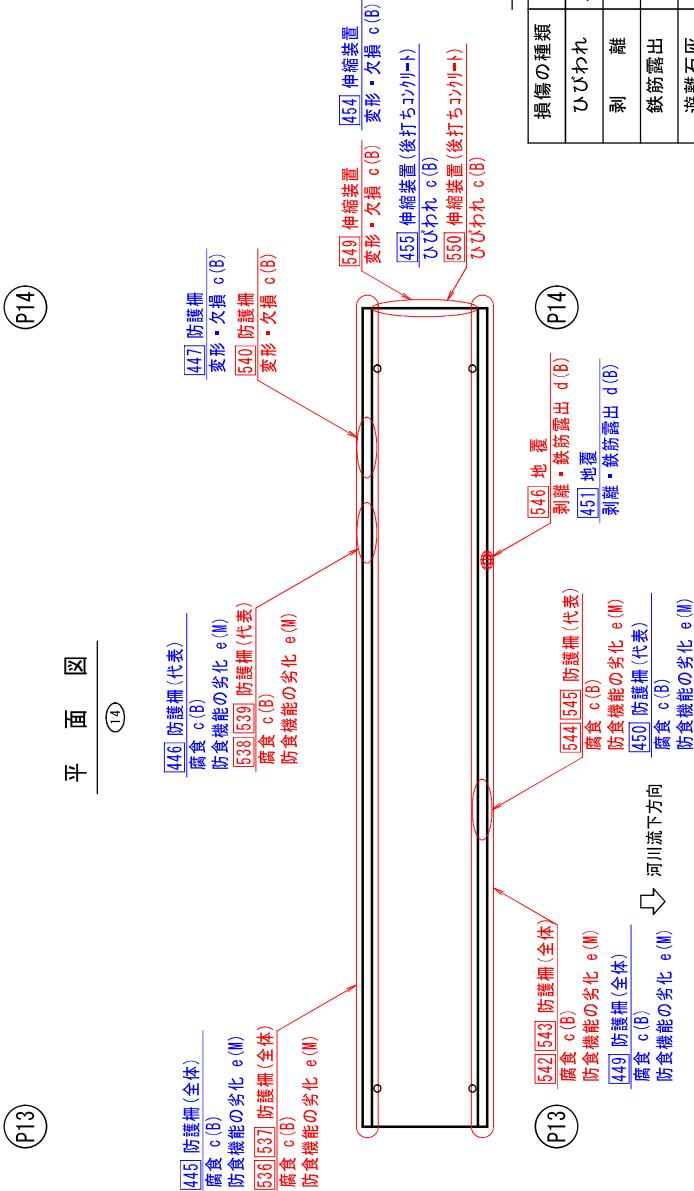
鏡中条橋 損傷図（その２７）（14径間目）

橋梁番号 40030409

側 面 図  
(13)



平 面 図  
(13)



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		豆板・空洞	
剥 離		すりへり・侵食	
鉄筋露出		漏 水	
遊離石灰		その他	

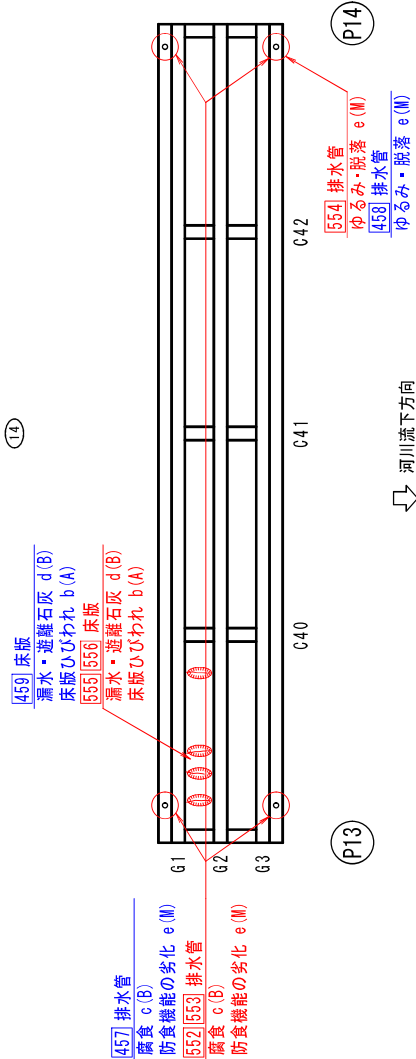
注) □内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。

\*損傷部の色区分を以下に示す。  
青字：R1年度点検時  
赤字：R6年度点検時

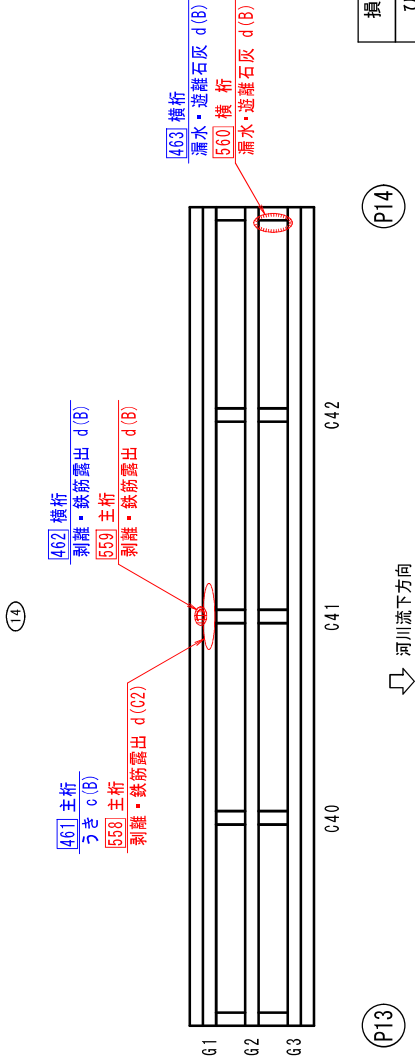
鏡中条橋 損傷図（その２８）（14径間目）

橋梁番号 40030409

床版下面平面図



主構平面図



損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ	ヤ	豆板・空洞	豆
剥 離	○	すりへり・侵食	斜
鉄筋露出	鉄	漏 水	漏
遊離石灰	遊	その他	○

注) 口内は、写真番号を示す。  
この図面は正式な一般図をもとに作成されて  
いないため、寸法形状は現橋との誤差がある。